

綾部市の支援マップ

就学前

幼稚園
こども園
幼稚園
保育園

遊びや生活のルール
での支援

集団とのかかわり方

義務教育

京都府立特別支援学校 小学部 ———— 中学部 ———— 高等部

綾部市立小・中学校

高校・就労など

高等学校

高等学校では中学校までに積み上げられてきたことをしっかりと引き継ぎ、教育活動を展開しています。

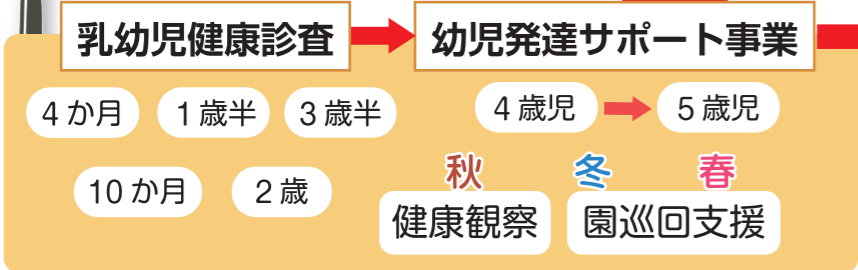
高等学校には支援学級の設置がないなど、小中学校と同じような手厚い支援が十分できていないのが現状です。しかし、中学校からの移行支援書を参考に3年間、必要な支援や見守りをします。必要な支援をすることにより、それぞれの得意分野を伸ばし、いきいきと3年間を過ごしている生徒もいます。本人の意志や興味・関心などに応じて、就職したり、進学したりして、自立につながっています。

移行支援書がなかったり、学校や関係機関との連携が十分でない場合、卒業後の進路選択の準備が遅れたり、連携できていなければ起こらなかったであろうトラブルに遭遇したりすることがあります。

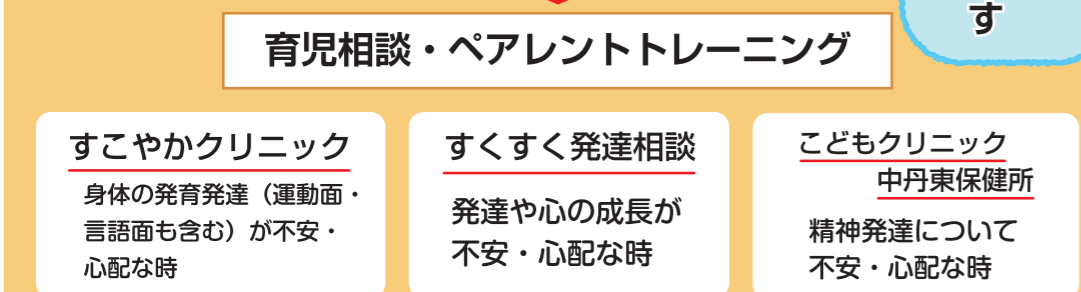
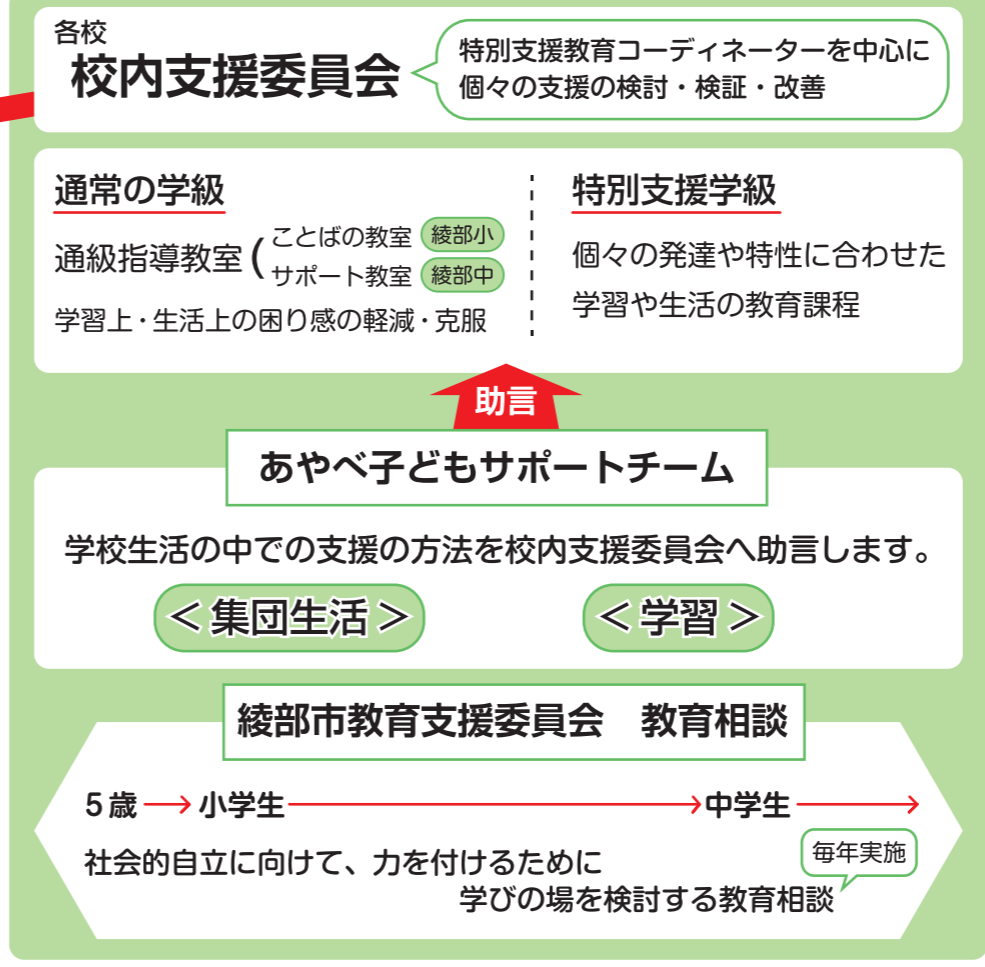
高等学校も必要に応じて、卒業後の就職先や進学先と個別支援の継続をしています。企業や大学、短大、専門学校も生徒個々の必要な支援について丁寧に引き継いでいただけたところが多くなってきています。

就学前から成人に至るまで切れ目のない一貫した指導と支援と関係機関との連携の大切さを高等学校では感じています。

早期から適切な支援を受けると、
自信が付き、学ぶことや、自立に向けての
意欲につながります。



必要に応じて
専門機関等を紹介し
ます



～就学まで

療育教室「あいむ」

綾部市療育教室「あいむ」では、発達に遅れや偏りのある就学前の子どもたちに対して週に1回2時間、少人数グループで個々の課題に応じた支援を行っています。

子どもたちが「楽しい!おもしろい!」と思えるような遊びを工夫し、達成感を得ることで自信を積み上げ、自ら挑戦する意欲を高めたり、集団生活に適応する力を育てたりすることを大切にしています。また、保護者の方と一緒に通所してもらうことで、子どもの姿を指導員と共有し、支援計画の作成を通して、具体的な関わり方をともに考えています。

5歳児 からだとことばの教室「すてっぷ」

からだことばの教室「すてっぷ」は、綾部市幼児発達サポート事業のフォロー教室です。5歳児(年長児)を対象に、小集団の中で、からだやことばの使い方のぎこちなさ、気持ちのコントロールの幼さなど、それぞれの課題に応じた運動遊びやことば遊びなどを体験することで、「できた」という成功体験を得て、自信や自己肯定感を育て、就学に向かう力を培うことを目的としています。

保護者の方にとっては、子どもたちの活動の様子を見たり、親が交流や相談をしたりする中で、子どもの姿について一緒に考えていくよい機会になります。

